

授業科目(ナンバリング)	スポーツ実習C(キャンプ実習) (AB105)			担当教員	神野周太郎・中山 忠彦		
展開方法	実技	単位数	1単位	開講年次・時期	1年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>本実習は、キャンプのプロを育成すること、単に楽しいで終わることを目的とした実習ではない。自然体験やテント泊などの野外活動を通してその楽しさを知り、地域を知り、自然を知り、その上で他者とその価値を共有するためにどうすべきか、後世に継ぐためにどうすべきか(ツーリズムの観点から成せること)、大前提として安全に野外活動するための資質能力を身につけることを目指す。</p> <p>授業を終えても自ら野外活動を「安全に」楽しむための倫理観の獲得や資質能力の育成を最大のねらいとする。</p>							②④⑤⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	野外に身を置く中で、集団の規律を尊重し、状況に応じて他者と協力し活動を安全に楽しく遂行できる。野外活動において持つべき倫理観や安全に遂行するための知識や技術を、実践を通して理解し身につける。				授業態度・授業への参加度 技術習得度・授業外レポート	40% 30%	
多様性理解力	受講生同士での集団活動を通して、豊かな人間関係、社会性を築くことができる。自然への興味や関心を高めることができる。				授業態度・授業への参加度	20% 10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業態度・授業への参加度を通して積極性をみる(40%)と共に、活動やレポートをもとに実習で行う活動のルールの理解度および必要な技術の習得度(30%)を評価する。また、集団生活を通して豊かな人間関係や社会性を築けたか(20%)自然への興味や関心を高められたか(10%)についても、授業態度・授業への参加度を通して総合的に評価する。技術の修得度・知識の理解については、実習中に口頭でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>所定のキャンプ施設にて2泊3日でキャンプを行う。日程はDAY Camp1日+テント泊の1泊2日で3日分を想定している。サップ、クライミング(ボルダリング)、サイクリング、プロギング、登山、クラフトワーク、テント設営、野外炊飯、焚き火ミーティング等のグループワークを含むプログラムを適宜選定し実施予定である。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p> <p>◆学生負担の諸経費の概算：¥15,000~20,000(アクティビティ講習代、施設利用代、食事代、保険料等を含む)</p> <p>◆上記と別に事前用意する必須キャンプ用品：寝袋、サーモマット、クッカー(計2万円以内で購入可)</p> <p>※COVID-19の影響により、実施場所・実施内容が変更されることがあります。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：使用しない。</p> <p>参考書：キャンプ指導者入門 第5版(キャンプインストラクター養成用：公益財団法人日本キャンプ協会)</p> <p>指定図書：キャンプ指導者入門 第5版(キャンプインストラクター養成用：公益財団法人日本キャンプ協会)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>実習への参加を最も重視するため、プログラム内の各活動に積極的に参加してほしい。また、授業のねらいでも記したように、授業を終えても自ら野外活動を「安全に」楽しむための倫理観の獲得や資質能力の育成を最大のねらいとするため、「楽しい」が必ずしも先行することがない場面があることを予め了解していただきたい。</p> <p>オリエンテーションへの参加が履修の前提条件となる。活動内容の詳細や実習費の支払い時期について周知する。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	事前活動 (5月、6月)	授業の内容・展開方法、評価の方法等に関する説明、用具の理解と活用	予習：シラバスに目を通しておく。
2	学外実習 (1日目午前)	開講式／オリエンテーション	予習：実習の場となるエリアの地理的特徴を事前に調べておく
3	学外実習 (1日目午前)	現地フィールドワーク 活動会場へのアプローチ編	予習：フィールドワークという調査手法をあらかじめ理解しておく
4	学外実習 (1日目午前)	野外炊飯① 昼食 形態：集団調理 or ソロキャンプ飯	予習：飯盒の使い方、火のおこし方について調べておく
5	学外実習 (1日目午後)	現地フィールドワーク 活動会場とその周辺エリア編	予習：活動場所の環境特性を調べておく
6	学外実習 (1日目午後)	アクティビティ① エリア：陸上 運動種目：ロック・クライミング※変更あり	予習：ロック・クライミングの特性及び危機管理について調べておく
7	学外実習 (2日目午前)	アクティビティ② エリア：海岸 運動種目：サップ※変更あり	予習：マリンスポーツの特性及び危機管理について調べておく
8	学外実習 (2日目午後)	野外炊飯② 昼食 形態：集団調理	予習：自然に配慮する調理方法を調べておく
9	学外実習 (2日目午後)	テント設営	予習：ロープワークについて事前に調べておく
10	学外実習 (2日目夜)	ナイトプログラム：焚き火ミーティング	予習：火のおこし方、効率的な木の燃焼方法について調べておく。
11	学外実習 (3日目午前)	野外炊飯③ 朝食 形態：ソロキャンプ飯	予習：コッヘルのみで完結する調理方法を調べておく
12	学外実習 (3日目正午)	アクティビティ③ エリア：海岸 運動種目：サップ※変更あり	予習：マリンスポーツにおいて自他の危機管理について復習しておく
13	学外実習 (3日目午後)	野外炊飯④ 昼食 形態：集団調理	予習：効率よく、自然に配慮した、美味しい調理方法を調べておく
14	学外実習 (3日目午後)	閉講式／プロギング※変更あり エリア：沿岸部 運動形態：本実習内ではウォーキング	予習：プロギングについて調べておく
15	事後活動	実習の振り返り	復習：実習を通して学んだ知識や修得した技能を確認する。